allcinema

美しさと哀しみと（1985）

TRISTESSE ET BEAUTE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 100分
初公開日 1987/04/25
公開情報 ＰＡＲＣＯ＝シネマテン

【解説】
彫刻家レア・ウエノ（ランプリング）は、二十年前に別れた小説家ユーゴー（ズラウスキ）と再会した。レアとレズ的関係にある弟子のプルダンス（ルーセル）は、初めは嫉妬を覚えるが、別れた当時の師の悲しみと憎しみを知り復讐を決意する。血の通うガラスのようなランプリングの美しさに加え、ルーセルの若き官能がこのフィルムの魅力。’６５年に篠田正浩監督で映画化（因にキャストは八千草薫、加賀まりこ、山村聡）された川端康成の小説の再映画化。話の展開はほぼ原作通り。監督フルーリーはこの作品がデビュー。当初、プルダンス役にはナスターシャ・キンスキーが決まっていたが、直前で降番。

【クレジット】
監督 ジョイ・フルーリー
原作 川端康成
脚本 ジョイ・フルーリー
ピエール・グリエ
撮影 ベルナール・リュティック Bernard Lutic
音楽 ジャン＝クロード・プティ Jean-Claude Petit
出演 シャーロット・ランプリング Charlotte Rampling
ミリアム・ルーセル Myriem Roussel
アンジェイ・ズラウスキー Andrzej Zulawski

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.